

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成25年4月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

前月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は10から5に減少。「減少した」業種は4から5に増加。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は20から9に減少。「減少した」業種は3から16に増加。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は11から6に減少。「悪化した」業種は5から12に増加。

前年同月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は7から4に減少。「減少した」業種は6から5に減少。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は8から9に増加。「減少した」業種は10から12に増加。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は10から9に減少。「悪化した」業種は11から10に減少。

製造業

漬物製造

売上高のみ増加した。

【県内全域】

豆腐製造

若干の値上げ交渉が成立した。

【県内全域】

酒類製造

飲食店向けの販売が低迷。燃料・資材・米価等コストアップを価格に吸収できない。

【県内全域】

牛乳小売

全般的に景況は良くない。

【県内全域】

製材

アベノミックスの影響はいまだ感じられない。木材、建材の値上がりが増えてきた。

【県内全域】

製材

米材の輸入原木は中止され、半製品での輸入が定着。輸入原木の千葉港から木更津港へのシフトが進められている。

【木更津】

印刷

4月の受注売上は、3月と比較し悪化した模様。民間に需要回復の兆しとメディアが伝えているが、好況感が一番最後に届く印刷業界にはまだ実感がなく、官需・民需共に冷え込んだままの状態。

【県内全域】

電気鍍金

幾分景気は上向きになってきたようだが、原材料(輸入品が多い)

【県内全域】

ため) 値上がりの傾向。日当たりの良い企業と日陰の企業がある。

鉄工

「景況感」「受注動向」「販売推移」等において、若干好転が見受けられるが、全体として大差はなく、各社にとって依然として低レベルでの推移が続いている。

【千葉】

機械部品製造

資材、ガソリン等値上げの状況にあり、収益圧迫の様相。円安株高で資材値上げ状況が心配。

【野田】

機械部品製造

前月と大きく変化はない。円安により原油価格が値上がりし、資材、原材料、輸送コストが上昇しているため、負担が大きい。

【流山】

機械部品製造

前月同様、全体的に低調。稼働日が少ない点も影響あり。

【柏】

金属製品製造

仕事量は増加傾向となってくる状況。効率化が追いついていない。業種によっては受注が増加。

【船橋】

採石

景気対策における港湾関係事業については6月後半以降の発注が見込まれ、当分は低空状態。

【県内全域】

土砂採取

特に変化がないとの回答が多い

【県内全域】

中、景気の回復基調等から洗砂、山砂の出荷量が増加し、在庫数の減少が当分続く傾向にあるとの報告もある。また、4月から価格改定をお願いしているところや円高による燃料や原材料の価格上昇から商品の販売価格に転嫁する傾向にあるとの報告も一部ある。

非製造業

【総合卸売】 【千葉県・東京都】
燃料費が高止まり、前年同期に比べ輸送コストの負担が増加している。

【事務機器卸】 年度末を超え、売上一段落状況。5月以降は販売先からの業況回復から代替え等の受注がやや増加するものと見ている。

【食肉卸売】 【千葉市他】
出荷頭数が減少していることから、枝肉価格は先月に続き好転。

【建築材料卸売】 【県内全域】
実需に変化は感じられない。現在、出荷好調な千葉西部地区でも上半期で息切れ懸念。通年では千葉は全般的には横ばいから減少気配。円安による原燃料並びに輸送費コストアップ要因もあり、値上げ必至だが動きは鈍い。

【自動車解体】 【県内全域】
円安傾向は続いているが、スク

ラップ価格は反落。為替の影響は大きく、先行きについての不安感がある。

【乾物卸売】 【県内全域】
小売に少し明るい兆しが見え始めている。

【小売】 【茂原】
アベノミクスの影響も徐々にではあるが外房地区にも反映されつつある。4月27日に圏央道が開通。交通の便は良くなったものの、商売への影響はいかなるものか。

【小売】 【柏】
アベノミクスへの期待感はあるものの全体的に好調とはいえない。

【電気機器小売】 【県内全域】
3月に引き続き4月も大変厳しい。先月よりも商品の動きがないますます悪くなる気がする。

【青果小売】 【千葉】
天候が安定せず寒い日が多かった為、入荷が不安定となり価格が下がらず収益確保が難しかった。

【中古車仕入・販売】 【県内全域】
相場も弱くなっているものの、タマ不足も手伝って、成約は高水準で推移。

低価格車のニーズは依然高く、活発な応札が続いている。円安効果で輸出向けの特定車種が急騰。

【小売】 【東金】
全般的に購買力が落ちている状況。百貨店等では高額品も動きがあるようだが、その辺の動きがない。

【小売】 【野田】
食品関係も気候の影響で商品の値段が高くなってきている。ファッション、サービス関連は若干の動きがあった。

【小売】 【小売】
春物衣料の売上は好調であったが、全体の売上は前年を確保するにとどまった。

【小売・サービス】 【柏】
好感感はまったく感じられない。食品関連店では卸価格の上昇による価格変更も苦慮しているとのこと。対抗店の価格を見ながら検討している。デパートでは、高額商品が好評とアナウンスされているが、全く感じられない。

【建設揚重】 【県内全域】
3月の好調が継続すると見ているが、4月に入り下降。地域により程度差があるが、5月中旬からの石油プラントの定修に期待。

【遊覧船】 【鴨川】
少しずつ良くなってきた。

【一般廃棄物処理】 【千葉】
先月の繁忙期を比べると状況は思わしくないが、昨年4月は例年に比べて厳しい月であったことを考えると、今年は通常の4月の状況に回復。良い傾向だと思われる。

【学習塾】 【県内全域】
塾の形態により差が出つつある。特に情報技術の進歩による変化。その点で、通信添削大手(ベネッセ、学研、Z会など)のシェアが拡大しつつある。通塾にするか、それとも自宅での通信添削にするか。5年後には大きな変動が起きているかもしれない。

【水道管工事】 【県内全域】
昨年度の組合員受注の公共工事(県水道局発注配水管工事)累計、前年対比118.6%アップ。

【建設】 【県内全域】
4月の受注高は、例年より激減。約60億の減であった。

【貨物運送】 【野田】
燃料の値上がり等で苦しくなる一方。

【輸出入】 【県内全域】
前月に続き、売上が上昇機運になり、前月比、前年同月比とも良くなる傾向である。